

受賞名	協議会会長特別賞	部門名	建築部門
作品名	木立に佇む家 ～暮らしと光と風のリノベーション～		
応募者名	株式会社OKUTA LOHAS studio デザインチーム		
住宅の概要	住所 埼玉県所沢市	構造・階数 木造2階	延床面積 119.00 m ²
環境への工夫	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自然材料の利用や資源循環の長寿命化に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 2 省エネ設計手法に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 3 自然と共生し、自然通風など自然力利用に関する工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域の林業、気候風土・歴史的技術の継承などへの工夫 <input type="checkbox"/> 5 災害時でのLCPが継続できる工夫 <input checked="" type="checkbox"/> 6 その他の独創的な工夫		
作品の説明	<p>既存の外観と骨格を活かしながら、1階を中心に生活できるよう断熱を計画した。コストバランスを考え、1階床面、外周部壁、2階天井、断熱窓交換と既存窓部分はインナーサッシを施工した。ヒートポンプ式のエアコン連動式床暖房を施工し、施工後の暖房負荷 68.12Kwh/m²・年、冬快適に過ごすための計画を特に目指した。お施主様ご自身がお納得いく断熱メニューで改修を打合せし、施工方法は部分断熱改修という高度な施工であったが、満足度につながる体感につながった。</p>		
講評	<p>毎年、本賞には環境住宅の観点から上質なリフォームの作品が応募されており、各社の取り組みには敬服するものである。</p> <p>本作品は、断熱性能のアップもさることながら、通風や入射日射のシミュレーションも駆使して設計されているところを高く評価した。意匠的にも木材を多く用い、断熱性能の向上で実現できるのであろう、広いLDを含めた新たな間取りにも好感が持てた。ただ、今後はシミュレーションの結果がどのように設計に反映されたか、その点を説明する内容があると、もっと評価できる（正当に評価できる）のではないかと考えている。今後の取り組みにも期待したい。（講評者：松岡委員）</p>		